

現代の ◆ ◆ ◆ ことば

藤原
あじはる

辰史
たかし

あの服の色を見て、真つ先に思ひ起すべきことを私たなくとも、私たはその問いに答えねばならぬ謂れがある。オランダ色の理由をめぐってさまざまな臆測が飛ん2003年3月20日、米英研究者に任せるにしても、「日本はすでに支持表明を出して、欧州各国にも参戦するよう」に説得を試みていた。その役を身に演じたのは、少なくとも日本の佳境は憂つきと言相・小泉純一郎である。彼は大量破壊兵器の存在

オランダ色の記憶



を証明できなかつたアメリカをかはつたばかりではない。は何を喚起せよとしてい

たのである。環首相・安倍晋ちを指さし、拷問をした兵士を人間ドミノにして微笑では残虐行徳には公開と密室兵器がないと証明できなかつたアメリカが悪い」(昨年5月28日の国会参事)といまだに同盟国をかほことに余念がない。以上の経緯を告知している日本政府と日本列島には、アメリカ兵たちがイラクに回帰をかほことに余念がない。以上の経緯を告知している日本政府と日本列島には、アメリカ兵たちがイラクに回帰をかほことに余念ない。オランダ色の服の囚人女性を襲撃し、家に戻つた少なからぬ彼女たちは恥辱と非難の中で自殺した。アメリカ人とイラク人との衝突は、残虐の公開と残虐の隠蔽。公

それは、二つの収容所の囚人たちの服に他ならない。服を「例外だ」と逃げたが、アメリカ兵による襲撃の色はオランダであった。アメリカでは囚人が脱走したとき自立しようとオランダ色の服を着させることが多い。思ひ起す。ここでなされたは全くない。イラク公開オランダ色にどんな意味を込めていたのか(京都大人文科学研究所准教授・農葉史)

を忘れてはならない。